

コンプライアンスチェックシートによる自己検証の集計結果について

コンプライアンス推進の取組として、チェックシートによる自己検証を実施しましたが、正規、再任用職員は 20 項目のうち、実施割合 90%未滿が 4 項目（昨年度 3 項目）ありました。

また、昨年度と同じ 14 の項目のうち 8 項目で若干の割合低下が見られました。

これまで様々な取組によりコンプライアンスを推進してきましたが、一層の努力が必要であるとの結果になりました。

嘱託、臨時職員については、90%未滿は無く（昨年度 1 項目）、全体的にコンプライアンスに関する理解が高いことがうかがえます。

市民からの信頼獲得のため、今後も勤務中は当然のこと、私生活においても常にコンプライアンスを意識した行動をお願いします。

【集計結果（全部局集計）】

<正規、再任用職員 1,254 人>

チェック項目	実施割合			
	H28年度	昨年度		
	全体	93.58%	-	
1 電話に出るとき、かけるときは、まず職場名と氏名を告げている。	97.77%	97.07%		↗
2 公文書は、保存年限、目的別にわかりやすく整理している。	96.17%	96.60%		↘
3 個人情報保護条例の概要を理解している。	97.21%	96.99%		↗
4 職場のパソコンを業務以外で使用していない（職務に関係のないWebサイトの閲覧を含む。）。	97.37%	97.31%		↗
5 メールを送信時、To・Cc・Bccを目的に沿って使い分けている（使い分けることを理解している。）。	96.09%	96.67%		↘
6 郵便、FAXの発送や送信時は、宛先と中身を複数人でチェックしている（FAXの短縮ダイヤル登録による送信は、複数人チェック不要。）。	87.88%	87.09%		↗
7 業務マニュアルを作成し、確認している。	92.03%	92.87%		↘
8 地域活動に参加している（PTA、スポーツ少年団の手伝い等を含む。）。	69.46%	70.31%		↘
9 売店などでの買物やATMの利用は、休憩時間内に行っている（私用は勤務時間外に行っている。）。	90.83%	91.69%		↘
10 日常生活において、自己研鑽を行う時間を確保している。	84.85%	86.54%		↘
11 席が近隣の職員が何をしているかを把握している（離席理由、業務の進行状況等互いに情報共有している。）。	96.09%	95.57%		↗
12 ハラスメント（セクハラ、パワハラ、マタハラ等）が疑われる行為を目撃したときは、知らないふりをせずに対応（注意、相談等）している。	95.30%	96.67%		↘
13 ふくし大作戦2016！！、つなごうスポーツ大作戦等本市の事業、取組に協力している。	84.77%	91.13%		↘
14 市全体として最優先すべき課題は何か、そのために果たすべき役割は何かを意識して仕事に取り組んでいる（全体最適を意識している。）。	94.42%	93.43%		↗
15 市民対応時には、不快感を与えないよう常に接遇（言葉遣い・態度）を意識している。	99.76%	-	-	
16 ネガティブな情報であっても、隠さずに同僚や上司に報告・相談している。	98.72%	-	-	
17 資料の削減、両面・縮小コピー、集約印刷、裏面使用、ミスコピーの防止など、廃棄物の減量化、経費削減に努めている。	98.64%	-	-	
18 2日酔いで出勤しないよう、勤務日前夜の飲酒は控えめにしている（平日の宴会では、翌日の勤務に配慮して早めに帰宅している。）。	98.64%	-	-	
19 歩きながら、スマートフォンや携帯電話等を操作していない。	96.01%	-	-	
20 運転免許証の更新時期を把握しており、公用車を運転する際にも必ず持参している。	99.68%	-	-	

<嘱託、臨時職員 369人>

チェック項目	実施割合		
	H28年度	昨年度	
全体	97.64%	-	
1 市の職員の一員であることを自覚して仕事をしている。	100.00%	100.00%	↗
2 売店での買物やATMの利用などの私用は、休憩時間や勤務時間外に行っている（職務に専念する義務が課せられていることを理解している。）。	93.77%	94.59%	↘
3 職場で知り得た情報は、友人や家族にも話してはいけないことを理解している（守秘義務が課されていることを理解している。）。	100.00%	100.00%	↗
4 勤務中は名札を着用している（業務に支障がある場合を除く。）。	98.92%	99.43%	↗
5 電話に出るとき、かけるときは、まず職場名と氏名を告げている。	96.75%	97.15%	↘
6 来客者に対し、「こんにちは」や「どちらに（どちらの課、係に）ご用ですか？」など自分から声掛けをしている。	97.29%	98.86%	↘
7 交通事故・違反を起こした際には、所属長を通して総務部行政監理室に報告が必要であることを理解している。	99.73%	99.15%	↗
8 ネガティブな情報であっても、隠さずに同僚や上司に報告・相談をしている。	98.92%	-	-
9 2日酔いで出勤しないよう、勤務日前夜の飲酒は控えめにしている（平日の宴会は、翌日の勤務に配慮して早めに帰宅している。）。	100.00%	-	-
10 歩きながら、スマートフォンや携帯電話等を操作していない。	98.92%	-	-

【項目全体の実施割合が高い上位3部局】

※部局ごとの集計結果は、別添の「集計結果一覧（全部局）」をご覧ください。

<正規、再任用職員>

1 消防	98.71 %
2 選挙管理委員会	98.33 %
3 福祉部	96.14 %

<嘱託、臨時職員>

1 会計	100.00 %
1 総合政策部	100.00 %
3 健康こども部	99.59 %

## 【実施割合が低い（90%未満）項目】

以下の項目について改めて確認をし、改善に努めるようお願いします。

### <正規、再任用職員>

**No.6 郵便、FAXの発送や送信時は、宛先と中身を複数人でチェックしている  
（FAXの短縮ダイヤル登録による送信は、複数人チェック不要） 87.88%**

書類の誤送付、FAXの誤送信は、単純な作業ゆえに起こりやすいミスです。同僚にチェックを依頼することは、多少気が引けるかもしれませんが、依頼を怠り防げたはずのミスを発生させた場合には職場全体に迷惑をかけることになります。

必ず複数人でのチェックを行いましょう。

**No.8 地域活動に参加している（PTA、スポーツ少年団の手伝い等を含む） 69.46%**

外部の人々と進んで関わりを持つことは、自らの考えや行動が一般常識として社会に通用するかを検証する機会となり、「市役所の常識は世間の非常識」との批判の解消につながります。

また、職場（市役所）以外の組織に属することにより、よりよいまちづくりを進める上で有益なネットワークを構築できる可能性が高まります。

仕事の幅を広げるためにも、職場外の人材との積極的な交流を心掛けてください。

**No.10 日常生活において、自己研鑽を行う時間を確保している 84.85%**

苫小牧市人材育成基本方針において、目指すべき職員像の1つとして「行政職としてのプロ意識を持った職員」を掲げており、自己研鑽を重要視しています。

本を読む、講演を聴きに行く、課題解決のヒントを求めて気になる地域を訪問するなど、勤務時間外においても仕事の土台を築く行動があります。業務が多忙との意見も多くありますが、工夫して時間を確保しましょう。

なお、行政監理室では通信教育や自主研究グループの活動に費用助成を行っていますので、ぜひ活用してください。

**No.13 ふくし大作戦 2016！！、つなごうスポーツ大作戦等本市の事業、取組に協力している 84.77%**

本市では、「人間環境都市」の創造を目指し、各部署で様々な施策を展開しています。

市全体の活性化を促進するためには、自分の担当業務以外にも目を向け、ときには組織を超えて協力しあう体制が必要になります。

誰でも気軽にできる協力は、行事に参加することです。行事の開催時に予定が入っていないなら、まずは足を運んでみましょう。